

# 43. 病理診断支援のための人工知能(病理診断支援AI)開発と統合的「AI医療画像知」の創出

## 研究の概要

平成29年から病理医不足を補う目的で人工知能を使った病理診断システムの開発が始められ、当院も本研究に参加しています。

## 研究の目的と方法

患者様から採取した組織から作成される病理組織標本を通常は病理医が顕微鏡で観察して診断していますが、その診断の補助を人工知能(AI)に行わせる病理診断支援AIの開発が本研究の目的です。まず全国から病理標本のデジタル画像・臨床情報を収集し、人工知能に学習させてその診断精度を上げ、実際の診療での使用を目指します。

## 本研究の参加について

研究に用いる病理標本は数年前の標本で、すでに診断・治療が終了している症例を検討しますので、本研究による患者様の利益・不利益はありません。また個人情報も守られます。もし本研究へ参加されたくない場合は、いつでもデータ登録を拒否していただくことができます。その場合は、下記の当院研究代表者にご連絡ください。登録を拒否したことで、日常の診療などにおいて患者様が不利益を被ることは一切ありません。

## 調査期間

研究期間：倫理審査委員会承認後～平成31年3月31日（調査対象期間平成7年1月～平成28年12月）

## 研究代表者

日本病理学会理事長 北川 昌伸

## 当院における研究責任者

病理診断科 村山寿彦

## 問い合わせ先

病理診断科 村山寿彦

TEL: 096-353-6501